

研 究 集 録

第 1 4 7 号

日中両言語における蓋然性判断のモダリティ — 「かもしれない」「也許」と「にちがいない」「一定」を中心に —	吉田 則夫・劉 笑明 申 文亭	1
国会討論におけるノダとワケダ — 政権交代後の変化 —	伊土 耕平	11
“Her ear too is a shell” (U11938) : 貝の耳・耳の貝 ～ 文字と音声と言語操作 ～ (joyce&voice&word)	岡田 和也	19
ジョージ・エリオットにみる科学の受容と懐疑 — 『ミドルマーチ』医師リドゲートのテキストを読む — その1	福永 信哲	27
伊賀市中心部における観光事業の現状と課題	川田 力・木本 勝七	35
A Contrastive Study of Potential and Practical Errors in On-line Translation Due to Linguistic Differences in Chinese, English and Japanese	Yukito SETA ・ JIANG Fan	45
オーストラリアの家族の変化 (その2)	野邊 政雄	57
学校給食における児童の食行動の変容と食事観の形成に関する研究動向	野邊 政雄・岡本 真依	63
Richardsonの小説における <i>un-</i> 派生語の考察	脇本 恭子	69
ドイツ—ザクセン邦—のギムナジウムにおける物理教育	田中 賢二	81
スポーツ哲学の先駆者たち (1)	関根 正美	95
「数学的な考え方」を育成する授業改善	黒崎東洋郎	103
大学生の情緒的および行動上の問題を予防する心理教育的プログラム — “サクセスフル・セルフ大学生版2”を用いた介入研究 —	安藤美華代	113
保育目標のとらえ方と保育実践の両者を質的に向上させる 保育実践開発に関する考察	横松 友義・渡邊 祐三 森 英子・伊勢 慎 豊池 利江・斎藤 健司	125
Clinical Usefulness of TSH Receptor Autoantibody Using Different Assay Systems	Yukari MIMURA ・ Toshio OGURA ・ Fumio OTSUKA	135
注意機構の脳機能局在および脳機能システムに関する文献的研究 — Continuous performance testを中心に —	津島 靖子・眞田 敏	145

2 0 1 1